

# 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果

## 全国学力・学習状況調査とは

平成31年4月18日に全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、これまでの取組の成果と課題を検証し、学校における児童・生徒への指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として実施されています。対象は、小学校第6学年と中学校第3学年です。

## あきる野市の結果

本年度の調査結果は、夏以降に返却されます。そこで、あきる野市の子どもたちの学力の状況を、昨年度(平成30年度)の結果から分析します。

全国学力・学習状況調査の各教科に関する調査結果を東京都全体の平均を100とした場合、あきる野市の結果が左の表の網掛けの部分となります。

表1

	中学校		小学校	
	あきる野市	東京都	あきる野市	東京都
国語 A	96.1	100.0	89.2	100.0
国語 B	95.2	100.0	87.7	100.0
数学 A	91.0	100.0	89.6	100.0
数学 B	87.8	100.0	81.8	100.0
理科	93.8	100.0	88.7	100.0

なお、この調査結果には、児童・生徒がもつ学力の一部分しか現れていません。児童・生徒が学校の教育活動の中で身に付けるものはもっと広く、様々なものがあります。そのため、この調査の結果は、学校の教育活動の結果全てを表すものではないことに留意ください。

東京都の平均とあきる野市の平均を比較すると、赤字になっているB問題の方が苦手なことがわかります。

小学校低学年からの積み重ねの更なる工夫と、思考力・判断力・表現力等の育成に焦点を置いて、各教科の特質に応じて、見方・考え方を働かせ、知識・技能を活用

する中で、考えたり、判断したり、表現したりする学びを充実させる必要があります。

なお、左の「表2」は、東京都が実施する児童生徒の学力向上を図るための調査(平成30年7月5日実施)の結果です。こちらの対象は小学校が第5学年、中学校が第2学年です。

表2

	中学校		小学校	
	あきる野市	東京都	あきる野市	東京都
国語	95.6	100	89.3	100
社会	92.8	100	96.0	100
数学	89.2	100	85.1	100
理科	94.3	100	95.9	100
英語	92.0	100		

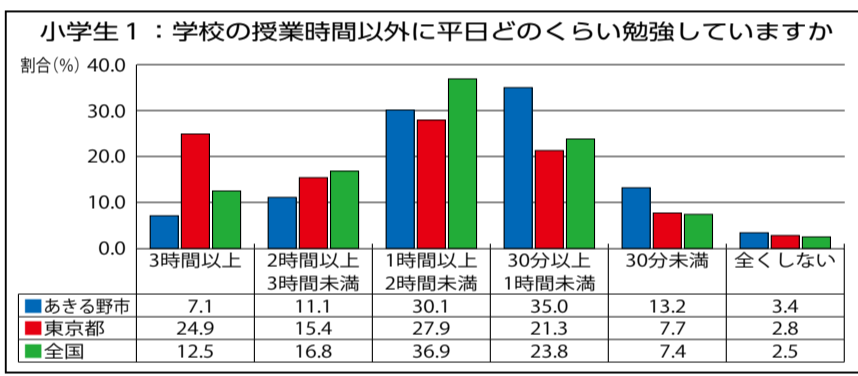
この調査は「教科」ごとで分けられており、知識や活用といった分け方はしていませんが、問題ごとに詳細に分析すると、全国学力・学習状況調査と同様の課題がみられました。

**児童・生徒質問紙調査**

● 学習習慣について

学力向上には、学ぶ姿勢や意欲の喚起が重要です。全国学力・学習状況調査の結果によると、小学校第6学年及び中学校第3学年のあきる野市の平均正答率は、全体的に東京

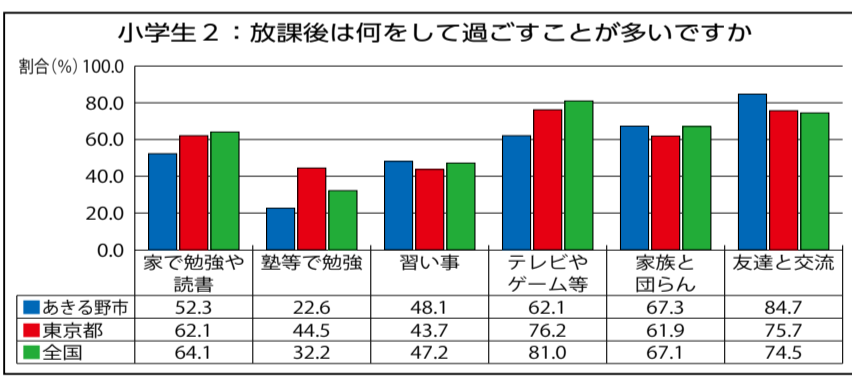
都の平均より低い状況がみられました。改善を図るための手段の一つとして、児童・生徒の学習習慣の確立が重要とされています。そこで、小学校については児童の放課後の過ごし方を、また、中学校については平日は部活動の練習で帰宅時間が遅くなることを踏まえ、週末の過ごし方を分析しました。



右の「小学生1」のグラフからは、あきる野市の児童は平日の放課後の学習時間が短いことがわかります。放課後に1時間以上の学習をしている児童の割合は、東京都が68.2%、全国が66.2%です。これに対し、あきる野市は48.3%と20ポイント近い差があります。また、30分未満や全くしないという割合も、全国や東京都と比較して6ポイント以上多いことがわかります。

右下の「小学生2」のグラフからは、あきる野市の児童は、学習や読書の時間は少ないものの、友達と遊んだり、スポーツ系の習い事をしたりするなどして、放課後を過ごしていることが読み取れます。一方、家でテレビやビデオ、DVDを見たりゲームやインターネットをしたりしている児童は約62%であり、全国や東京都よりも割合が低いことがわかります。放課後に勉強や読書をするだけで放課後の過ごし方ではありませんが、勉強の時間とこのグラフの結果を関連付けると、バランスが取れていないことがわかります。

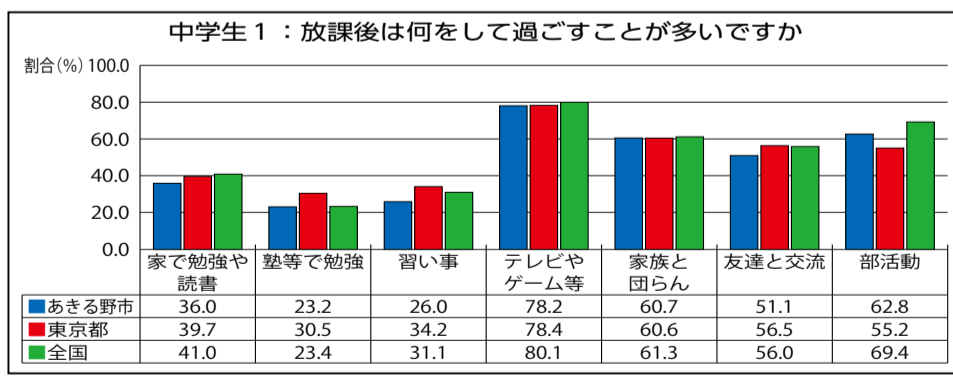
書ける時間は少ないものの、友達と遊んだり、スポーツ系の習い事をしたりするなどして、放課後を過ごしていることが読み取れます。一方、家でテレビやビデオ、DVDを見たりゲームやインターネットをしたりしている児童は約62%であり、全国や東京都よりも割合が低いことがわかります。放課後に勉強や読書をするだけで放課後の過ごし方ではありませんが、勉強の時間とこのグラフの結果を関連付けると、バランスが取れていないことがわかります。



「中学生1」のグラフでは、「家で勉強や読書をしている」生徒の割合は36%であり、東京都の39.7%、全国の41%と比べて低いという結果が出ています。

「学習塾など学校や家以外の場所」で勉強している生徒は23.2%となっており、東京都の30.5%、全国の23.4%と比べて低いことがわかります。

「家でテレビやビデオ、DVDを見たり、ゲーム・インターネットをしたりしている」生徒の割合も低いです。家庭学習の在り方が課題であると言えます。



**児童・生徒質問紙調査**

● 自己肯定感について

児童・生徒の学習意欲の喚起には能力がある「といった自己肯定感が重要だと言われています。下段のグラフ、「小学生3」及び「中学生2」を見ると、あきる野市で、「自分には良いところがある」と答える児童・生徒は8割近くいますが、全国や東京都の結果と比べると低い現状があります。

自己肯定感が高いと、前向きにチャレンジしたり、壁にぶつかっても立ち向かったりすることができようになります。学力向上を図るために、他者との関わりの中で、成功したという経験を得ることで、「できる」という感覚を増やしていくことが必要です。

